

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県草津市笠山1-2-60

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
日電硝子加工株式会社
代表取締役社長 松宮 晴樹

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	日電硝子加工株式会社 代表取締役社長 松宮 晴樹
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県草津市笠山1-2-60

1 事業所の概要

事業所の名称	日電硝子加工株式会社								
事業所の所在地	滋賀県草津市笠山1-2-60								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	1	1	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他ガラス・同製品製造業			
事業の概要	ガラス製品の製造、及び加工								
従業員の数	58人			操業時間		24時間／日			
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	4	台	照明設備	620	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	8	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	平成30	年度	報告対象年度	令和5	年度
	終了 年度	令和5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

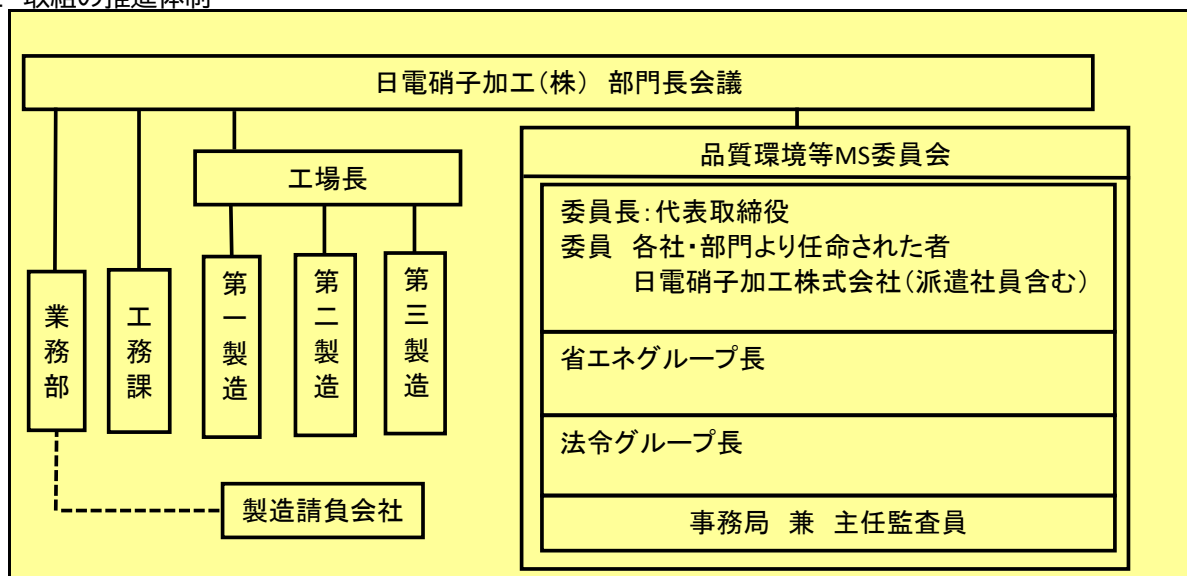
計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

【環境理念】 自然と共存することを常に意識し、環境負荷の低減に努め、地域社会と共生できる企業活動を通して、地球環境の保全と循環型社会の実現に寄与するものとする。 また、お客様のご要望を理解し、どこまでもご要望にお応えできる製品を提供できる世界一の特殊ガラスの加工企業となることで、文明の進歩と豊かな未来に寄与します。 【行動指針】 1. 世界一のモノづくりを実現することで天然資源・エネルギーを有効活用し、廃棄物のミニマム化・リサイクル化による環境負荷低減を図る。 2. 関連法規制並びに、お客様の要求事項の順守にとどまらず、自主管理基準を掲げ、汚染防止・品質向上を目指す。 3. 新しい技術に挑戦・絶対にやり通すという強い意志で課題を成し遂げることで社会の発展に寄与する。 4. 製造請負会社を支援し、全員の力を合わせて品質・環境目標に取り組む。また、マネジメントシステムとパフォーマンスをレビューし、改善する。 5. 著しい・望まない影響が発生。または予測される場合は、利害関係者へ適時・適切な情報を開示し、良好なコミュニケーションに努めることで最小限に抑える。
--

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 照明設備新設時、LED照明機器の導入
- 既存の照明機器の交換『Hf→LEDへの切替』
- 電気炉・ガス炉の断熱材の強化による動力コストの低減
- 電動フォークリフトの導入
- 原材料の異なるガラスの加工を工場別に細分化し、排出される産業廃棄物(特管)を縮小
- 工場天井の蛍光灯の間引き
- 夏季、冬季の使用電力の節電(デマンド監視)
- 運行車両、通勤車両のアイドリングストップ推進

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明設備の新設・更新時、LED等の省エネ効果の高い機器を導入	平成30年～令和5年度	HfからLEDに変更、随時実施中
2	運用改善	社有車、通勤車両、構内運行車両のアイドリングストップ	平成30年～令和5年度	継続実施中
3	設備導入	ファンの駆動にインバーターを採用	平成30年～令和5年度	継続実施中
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
●目標 温室効果ガス(ton) = 原単位 で毎年1%削減 売上(百万円) ●結果 令和3年度原単位は前年度比 7%増 令和4年度原単位は前年度比 13%減 令和5年度原単位は前年度比 5%増		温室効果ガス排出量は前年度より削減したものの、売上が減ったことにより結果として原単位は増となった。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	3,990	3774	3550	3812	3736	2,653
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	7,827	5,904	5,430	6,034	5,333	4,480
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	7,827	5904	5430	6034	5333	4,480
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
N ₂ O	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
HFCs	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
PFCs	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
SF ₆	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
NF ₃	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						